



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2004.5月号

●寄贈品コーナー●

人文分野新資料展ー考古分野資料からー

毎年、多くの方々から資料を寄贈して頂いており、それらの資料を寄贈品コーナーで公開しています。考古部門での寄贈資料は大変少ないのが現状ですが、昨年、山崎実氏、吉川正剛氏、安藤次郎氏からまとまった資料を寄贈して頂きました。特に、山崎氏からは膨大な考古資料を寄贈して頂きました。

山崎氏は大正10年に北海道の北見市で生まれました。近くには大変有名な最寄（モヨロ）貝塚があります。そうした環境から考古学に興味を持たれ、多くの考古資料を収集されています。昭和27年に平塚市に住まわれてからも、万田貝塚、五領ヶ台貝塚など多くの遺跡の資料を収集されました。特に、万田貝塚の資料は膨大な量で、大変貴重な前期から後期の資料を多く含んでいます。



収蔵庫に納められた山崎氏の資料



大型の石匙（吉川氏）

吉川氏の資料は中学時代に採集されたものです。現在の遺跡分布地図にない場所から発見されていますので、大変貴重な資料と言えます。大型の石匙は県内でも珍しく、大変見事なものです。普段は2階の「道具の歴史」で展示しています。

安藤氏からは四之宮周辺の工事現場から古代の資料を寄贈して頂きました。中には、古代の鍛冶工房で使われる金床石（礫を使用）を採集しています。周辺から連房式鍛冶工房跡が発見されていますので、関連する資料と考えます。



石の表面に鉄分が付着した金床石（安藤氏）

以上、昨年は様々な情報が得ることができ、大変うれしい年でした。もし、考古資料を所蔵している方でお知らせを下されば幸いです。

第5回博物館まつり開かれる

「第5回博物館まつり」が3月20日～4月11日にかけて、開催されました。これは、博物館で活動しているいろいろな分野のサークルが、1年間、どのようなことをやってきたのか、どんなことがわかったのかを、各サークルの手で紹介する催しでした。今回は、11団体のサークルが参加し、展示・発表会・実演が行われました。

展示は、各サークルが工夫を凝らし、年々、内容の濃い展示になってきました。発表会は3月27日に行われ、8つのサークルが、会の活動紹介や会の成果について、それぞれ15分間の発表をしました。100名程の方々が発表会に参加され、熱心に耳を傾けました。実演は雨天で中止となった会もありましたが、多くの方にご参加いただきました。これを機会に、各サークルの輪が広がり、さらに充実した活動が期待されます。

以下に、写真で、この様子を紹介します。



発表会でのサークルの発表



漂着物を拾う会の展示



天体観測会の展示



相模川の生い立ちを探る会の展示



民俗探訪会の展示

自然観察ゼミナール 「植物の観察と分類」

日時：5月15日（土）および29日（土） 各10時～4時

申込：往復はがきで。締め切りは5月10日。

◆こんな内容を考えています

身近な場所にも多くの種類の草や木が生えています。平塚市内だけでも、約1000種類が記録されているほどです。それらの名前が分かればどんなに楽しいだろうと考えている方も多いことでしょう。また、多くの名前を覚えるということだけでなく、一つの種類をじっくり観察する方法を学ぶことも、植物とふれあう楽しみを倍加させてくれます。

そこで、今年自然観察ゼミナールでは、「植物の観察と分類入門」と題して、植物に対する基本的な見方を身につけて頂くことを計画しました。ふるってご参加ください。

◆植物誌調査会について

さらに深く植物について学んでいきたいという方には、神奈川県植物誌調査会という市民団体への入会をお勧めします（事務局：神奈川県立生命の星地球博物館／年会費2000円）。この会では、『神奈川県植物誌』という本をまとめることを目標に、それぞれが地域を受け持って、どんな植物があるかを徹底的に調べる調査をしています。平塚市博物館では、湘南ブロックという範囲のとりまとめを行っており、月に1,2回ずつ（平日）、調査をかねた観察会を会員の方々と一緒に催しています。そうした会に参加できれば、多くの経験を積むことができます。調査会は、1979年から四半世紀続いており、その成果は合計3000ページ近い2冊の植物誌にまとめられています。

◆変わっていく植物の世界

植物の種類や分布も年とともに変わっていきます。特に外来種は急速に増えることがあり、風景を一変させてしまうようなこともあります。現在、植物誌調査会の方々が注目している種の一つにイケノミズハコベという水草があります。早春、水路を覆い尽くすように、細かい緑色の葉を広げるこの植物は、近年金目川周辺で増えており、その動向が調べられています。

そうした変化に気づくのも、基礎となる知識が重要ですね。



写真：金目川でイケノミズハコベを観察する植物誌調査会会員

博物館カレンダー

2004年5月の行事

5	1	土	☆	寄贈品コーナー人文新資料(～6/8) 民具に親しむ会 プラネタリウム「5月の天文現象」	展示室 科学教室 プラネ室
5	2	日		古代遺跡を探す会	野 外
5	5	水		民俗探訪会「国府祭」	大磯町
5	6	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
5	7	金		古文書講読会	講 堂
5	8	土		地質調査会	特研究室
			◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
5	9	日		水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
5	12	水	☆	プラネタリウム「幼児投影(～7/7)」 社寺と祭を調べる会	プラネ室 特研究室
5	13	木		湘南コケの会 石仏を調べる会	野 外 田 村
5	14	金		古文書講読会	講 堂
			◎	星を見る会「ほうき星」	屋上・科学室
5	15	土	○	自然観察ゼミ「植物の観察と分類」 天体観察会「彗星」	講 堂 月光天文台
5	16	日	◎	ろばたばなし 相模川の生き立ちを探る会 天体観察会「彗星」	展示室 野 外 月光天文台
5	19	水		裏打ちの会	科学教室
5	20	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
5	21	金		古文書講読会	講 堂
5	22	土		空襲と戦災を記録する会 星まつりを調べる会	特研究室 講 堂
5	27	木		植物誌調査会 石仏を調べる会	野 外 田 村
5	28	金		古文書講読会	講 堂
5	29	土		天体観察会「学習会と彗星」 民具に親しむ会	特研究室 科学教室
			○	自然観察ゼミ「植物の観察と分類」	講 堂
5	30	日		地質調査会	野 外

2004年6月の行事

6	2	水		社寺と祭を調べる会	特研究室
6	3	木		展示解説ボランティアの会	特研究室
6	4	金		古文書講読会	講 堂
6	5	土		相模川の生き立ちを探る会	野 外
6	6	日		水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
6	8	火	◎	星を見る会	屋 上
				天体観察会	屋 上
6	9	水		全館燻蒸(～18日)	全 館
6	10	木		石仏を調べる会	野 外
6	12	土	◎	漂着物を拾う会	虹ヶ浜
6	13	日		古代遺跡を探す会 地質調査会	野 外 野 外
6	19	土	☆	プラネタリウム「太陽の動き・星の動き(～7/11)」 星まつりを調べる会	プラネ室 講 堂
			☆	寄贈品コーナー(歴史分野～7/29)	展示室
6	20	日		みんなで調べよう 民俗探訪会	講 堂 講 堂
			◎	ろばたばなし	展示室
6	24	木		石仏を調べる会	特研究室・野 外
6	25	金		古文書講読会	講 堂
6	26	土	○	自然の新聞を作る会 空襲と戦災を記録する会 民具に親しむ会 天体観察会	大磯町 特研究室 科学教室 屋 上
6	27	日		地質調査会	科学教室

☆: 展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

<展示とプラネタリウム>

☆プラネタリウム「金星が太陽面を通る」

期間: 4月10日(土)～6月6日(日)まで

投影日: 土日曜日の11時と14時

☆プラネタリウム「5月の天文現象」

5月中にみられる天文現象を解説します。

投影日: 5月1日(土)14時

☆寄贈品コーナー

・「人文新資料」

会期: 5月1日(土)～6月8日(火)

<参加者募集>

○自然観察ゼミ「植物の観察と分類」

植物の生活の観察のしかたと名前の調べ方の基礎を紹介します。

日時: 5月15日(土)・5月29日(土)10時～16時

場所: 博物館講堂

申込: 往復はがきで5月10日(月)までに申し込む

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時: 5月8日(土)9時30分～11時

場所: 平塚虹ヶ浜海岸

参加: 自由(ただし、初めてのの方は往復はがきで申し込むこと)

◎星を見る会

「ほうき星」を見よう。

日時: 5月14日(金)19時～20時30分

場所: 博物館屋上

参加: 自由

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時: 5月16日(日)(1)13時20分～(2)15時～

場所: 展示室民家

参加: 自由

あなたと博物館 30巻 2号 通算329号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>